

# クリーニングについて

笑う時や話す時、前歯の汚れが気になって口元を隠していたり、大きな口を開けられないことがあるかと思えます。

歯面についた食べカスや歯垢はブラッシングで落とせますが、ヤニや色素沈着はブラッシングでは落とせません。

それを落とすのがクリーニングです。歯科衛生士が専用の機械を用いて歯面を研磨し、表面についた汚れを落とします。

最近ではホワイトニングという言葉がよく知られていますが、ホワイトニングとは歯の本来の色を白くすること、クリーニングとは違います。表面をきれいにした上でホワイトニングは行なうので、クリーニングは前処置として行なわれることが多いです。ただ、クリーニングを行なうことで、歯の本来の色を取り戻せるので、それだけでも歯の色は明るくキレイになり、気になりにくくなります。

最近では薬局等で「着色を落とす」と書かれた商品も見かける様になりま

したが、気をつけたいのは粒子の粗さです。強力な物だと確かに着色は落ちるのですが、落した後の歯の表面がザラザラになり、次の汚れがよけいに着きやすくなってしまふ事もあります。そして、何度も頻繁に繰り返すことで歯が薄くなり、知覚過敏を起こしてしみやよくなることもあります。

歯科医院でのクリーニングの流れは以下の通りです。

## 1 歯石除去

歯石を取り除きます。

## 2 粗研磨

粒子を吹き付ける機械や粗い研磨材を用い、大まかな汚れを落とします。

## 3 研磨

粗さの弱い研磨材で汚れを落とします。

## 4 仕上げ研磨

超微粒子の研磨材を用いて歯の表面を滑沢にします。

この様に、段階を追って汚れを落とすことで、歯の表面への負担を軽くすることが出来ます。

実際行なうのはプロの歯科衛生士なので、歯面への圧接する力等も適切に行なえ負担はさらに軽くなります。そして仕上げに研磨を行なう事により、歯の表面をつるつるにすることが出来ます。

歯の表面がザラザラだと汚れが着きやすく、ブラッシングをしても落ちにくいですが、表面がつるつるであれば汚れ自体も表面に残りにくく、ブラッシング効率も良くなります。汚れが着きにくい状態になるので、個人差はありますが、頻繁にクリーニングを行なう必要はなくなります。

ただ、毎日の食事や生活で、着色の要素の含まれる物をまったく取らないと言うのは不可能です。よく言われるタバコのヤニやコーヒー・紅茶・お茶やワイン等に含まれる色素、そのほかにも醤油等の調味料や色のつきやすい食物等、着色の要素は多種多様だからです。その為、一度クリーニングを行なったからと言ってもう二度と着色しないと言う訳ではありません。しかし、着きにくいつるつるの状態をつくり、意識して生活する事で着きにくくする事は出来ます。

歯の色が気になっていらっしゃる方、クリーニングを行なって本来の歯の色や

つるつるの歯を手に入れてみてはいかがでしょうか。

## 《料金》

基本料 ¥1000

歯1本 ¥500

※本数や範囲等、詳しくは衛生士とご相談下さい。

※施術時間は1時間程度です。



クリーニング前



クリーニング後